

静岡大学・男女共同参画推進室／グローバル共創科学部・助教
佐賀大学客員研究員、元佐賀県立男女共同参画センター客員研究員

みやち かおり
宮地 歌織さん

2023年4月より静岡大学・男女共同参画推進室／グローバル共創科学部・助教。複数の大学にて男女共同参画やダイバーシティ推進の事業を担当。また国際NGOであるジョイセフやJICA(国際協力機構)などで女性の健康にかかわるプロジェクトに関わる。専門は社会人類学で、東アフリカのケニアにおけるリプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖の健康/権利)の調査を実施。また近年ではケニアにおける女性高齢者の調査研究を行っている。

「これと男女共同参画」

佐賀大学客員研究員

宮地歌織



令和4年度男女共同参画お届け講座(男女共同参画センター主催)での講演の様子

CONTENTS

特集インタビュー

P2-3

静岡大学・男女共同参画推進室／グローバル共創科学部・助教
佐賀大学客員研究員、元佐賀県立男女共同参画センター客員研究員
宮地 歌織さん

P6-7

生涯学習センター
・離れていてもつながる 学べる 体感できるオンライン
・夢パレット博士第700号誕生！
・3者協働で取り組んだ「課題解決支援講座」 ・まなびいフェスタ告知

P4-5

佐賀県DV総合対策センター
・あなたがYESでも、わたしがNOなら性暴力。
・令和5年度DV等暴力予防教育実施のお知らせ

P8

・アバンセの工事についてのお知らせ
・アバンセ館長メッセージ
(※アバンセ男女共同参画 替え歌シリーズ)





女性自身が 自分の体や生き方について 決めることができる社会に



セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ Sexual and Reproductive Health and Rights (SRHR)

この言葉を聞いたことがありますか？

日本語では、「性と生殖に関する健康と権利」と訳され、
すべての人の「性」と「生き方」に関わる重要なことです。

今回は、長年にわたって、女性の健康にかかわる調査や研究を
されている宮地歌織さんにお話を伺いました。

静岡大学・男女共同参画推進室／グローバル共創科学部・助教
佐賀大学客員研究員、元佐賀県立男女共同参画センター客員研究員

2023年4月より静岡大学・男女共同参画推進室／グローバル共創科学部・助教。複数の大学にて男女共同参画やダイバーシティ推進の事業を担当。また国際NGOであるジョイセフやJICA(国際協力機構)などで女性の健康にかかわるプロジェクトに関わる。専門は社会人類学で、東アフリカのケニアにおけるリプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖の健康/権利)の調査を実施。また近年ではケニアにおける女性高齢者の調査研究を行っている。

みやち かおり
宮地 歌織さん

① これまでの活動から

～若者たちが考える自分の健康や将来～

国際協力組織NGO*であるジョイセフで、中南米およびアジア地域における思春期保健(Adolescent Sexual Reproductive Health: ASRH)を担当していました。途上国では児童婚や若年妊娠が大きな課題となっています。若者には適切な情報やサービスが提供されないことで、望まない妊娠やHIV/AIDSの感染なども起きやすくなります。しかし国の政策や宗教などにより、若者に対する教育やサービスの提供が難しい場合もあります。

そこでジョイセフでは、アジア地域の10代を中心とする若者たちとアドボカシー(政策提言)のために若者の声を集め、それをカードにし、政治家に声を届ける活動を行いました。

また中南米のプロジェクトでは、大人と対等に話し合うことができるように若者のスキルアップを行ったり、若者にフレンドリーな情報やサービスの提供を行うためのワークショップを行ったりと、若者たちが自ら考え自分の健康や将来を考えることができる活動を実施しました。

*NGO(非政府組織)=non-governmental organization

② 活動の原点

～ケニアでの研究から見えてきた課題～

大学生の時に、1995年の第4回世界女性会議(北京会議)に関する報道で、FGM(女性器切除)について知りました。その後にアフリカを訪問する機会があったのですが、現地では成人儀礼として男女ともに行われる重要な儀礼であることがわかり、またFGMも国や地域、あるいはそれぞれの家庭で異なる状況にあることが調査研究でわかってきました。

私は、女性自身が自分の体について決めることができる「性的自己決定権」が大事だと思っており、文化や伝統という名のもとに行われる女性に有害な行為について反対する立場です。しかし日本ではそれが保障されていると言えるのでしょうか？ケニアで最初に調査をしたのは1998年ですが、現地では低用量ピルが無料など、日本にはない避妊方法(ホルモン注射や埋め込み式ホルモン)があり、女性は自ら複数の避妊方法を選ぶことができました。実は日本で低用量ピルが認可されたのは1999年と世界と比べると大変遅かったのです。近代的避妊法のサービスが無かったり、コストが高いなど、ケニアや諸外国と比較することで日本の課題が見えてきました。

自分の身体は自分に権利がある、というリプロダクティブ・ヘルス/ライツ(RHR)の視点は重要だと考えており、そのための研究を続けています。

③ 誰もが知ってほしい ～リプロダクティブ・ヘルス/ライツ～

リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(以下、RHR)とは、日本では一般に「性と生殖に関する健康と権利」と訳されます。RHRとは、性や子どもを産むことに関わるすべてにおいて、身体的にも精神的にも社会的にも本人の意思が尊重され、自分らしく生きられることであり、自分の身体に関することを自分自身で決められる権利のことです。

この概念は、1994年に行われたカイロの国際人口開発会議にて提唱されたものですが、それ以前は、女性の妊娠・出産は人口政策として国が管理するもの、という考え方がありました。自分自身が子どもをいつ産むのか、何人産むのかを決めることができる権利という点で大変画期的なものでした。それまでは大人や既婚者が対象であった家族計画についても、若者にも教育やサービスの機会があるべきという考え方や、安全でない人工妊娠中絶を防ぐなどの認識もなされました。残念ながら、まだ日本ではRHRという言葉が浸透していません。女性が健康で一生を過ごすために、月経なども含め、自分の体のことを知ることが大事だと思っています。また自分自身だけではなく、月経や更年期の課題など、パートナーや家族、職場などでも女性の健康問題が認識されれば、生活や仕事の面で、生きやすくなるのではないのでしょうか。



ニカラグアの
思春期保健のプロジェクトで、
若者に性に対する現状について
聞き取り調査しているところ

④ アバンセへ期待されること

アバンセの男女共同参画お届け講座等で講師として、佐賀県内の色々な地域に行き、現状について知る機会がありました。各地域で男女共同参画の活動を推進されている団体が活躍されており、佐賀のポテンシャルを感じました。

佐賀県は各市町との連携が強く、男女共同参画を強く推進するためのネットワークがある県だと感じています。その点でアバンセの果たす役割は大きく、その実績は、これまで女性の政治参画などにも表れています。近年は防災におけるジェンダーの視点の重要性が強く認識され、また若い講師の方々による講演もあり、今後も多世代にわたるジェンダー課題についての取り組みを継続していただきたいです。



宮地さんが
お世話になった家族の
おばあさんとお孫さん



現地のスタッフや若者に
性教育教材の説明をする
宮地さん

6月23日～29日は「男女共同参画週間」です。

令和5年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ

無くそう思い込み、守ろう個性 みんなでつくる、みんなの未来。

国は、「男女共同参画社会基本法」の公布・施行日である平成11年6月23日を踏まえ、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」としています。様々な取組を通じ、男女共同参画社会基本法の目的や基本理念について理解を深めることを目指しています。

この「男女共同参画週間」に合わせ、アバンセでは「男女共同参画週間パネル展」を開催します。佐賀県内で男女共同参画社会づくりを目指し、活動されている各団体の紹介や取り組みを展示しています。ぜひ、ご来場ください。

展示期間：令和5年6月2日(金)～6月29日(木)／展示場所：アバンセ1階展示コーナー
※6月5日(月)、12日(月)、19日(月)、26日(月)の休館日を除く



令和4年度のパネル展示の様子

あなたがYESでも、 わたしがNOなら性暴力。

相手が同意していない性的な行為は性暴力であり、許されません。
また、もし自分が同意していない性的な行為をされたら、それは性暴力被害です。

【巧妙になっている10代・20代に対する性暴力の手口】
以下のような被害が起きています。



「被害にあっているかも。」と思ったら、ひとりで悩まずご相談ください。
いつ、どこで、だれと、どのような性的な関係を持つかは、
あなたが決めることができます。
望まない性的な行為は、性暴力にあたります。
性的な暴力は、年齢、性別にかかわらず起こります。
また、身近な人や夫婦・恋人の間でも起こります。
つらいこと、不安なことについて一人で抱え込まず、
まずは性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターに
話してみませんか。

出典:内閣府ホームページ (<https://www.cao.go.jp/notice/rule.html>)

せいぼうりょくひがいそうだんまどぐち

性暴力被害相談窓口

はやくワンストップ

佐賀県内から **#8891** (全国共通番号) に電話すると、

性暴力救援センター・さが(さがmirai) に繋がります。

アバンセ女性総合相談(0952-26-0018)でも相談ができます。

性暴力救援センター



さが(さがmirai)

まずは、話してみませんか？



性暴力に関するSNS相談なら「キュアタイム」に相談してください。チャットで相談ができます。



内閣府ホームページ(https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/seibouryoku/index.html)を加工して作成

令和5年度 DV等暴力予防教育実施のお知らせ

子どもたちや若者がDV等暴力の被害者にも加害者にもならないために、発達段階に応じた内容で各学校に出向いて講話等を行います。

学校種別等		内容
小学校	低学年 (主に1年生～3年生)	1.プライベートゾーン 2.ぼうりょく(いじめ) 3.そうだん
	高学年 (主に4年生～6年生)	1.思春期の体と心の変化 2.友達とのより良い関係 3.暴力 4.相談
中学校		1.中学生ってどんな時期 2.より良い人間関係とは 3.暴力(デートDV等)ってどんなもの? 4.相談について
特別支援学校	(主に高等部)	1.思春期ってどんな時期 2.暴力について 3.良い人間関係とは 4.相談について
	(高等部3年生)	1.ハラスメントについて 2.相談について
高等学校・大学・短期大学・専門学校等		1.DV総合対策センターについて 2.ジェンダーギャップについて 3.暴力(デートDVや性暴力等)について 4.対等な関係について 5.相談について



お申し込み方法等、詳しくは下記のアドレスから佐賀県DV総合対策センターのホームページをご覧ください。



<https://www.avance.or.jp/dvsougou.html>

離れていても

つながる
学べる
体感できる

オンライン



令和4年度は、「県民カレッジの集い」(講演会)と「生涯学習関係職員実践講座」(公民館職員研修)2つの事業に「サテライト会場」*を導入しました。「県民カレッジの集い」では、アバンセから車で約80分の距離にある『唐津市浜玉公民館』に初めてサテライト会場を設け、講演会を開催しました。また、公民館職員がサテライト会場の設営方法を学ぶ講座にも取り組みました。ICT活用により、離れていてもつながり学び合える、新たな学びの場が広がっています!

*メイン会場以外に開設するサブ会場

オンライン検証事業 令和4年12月17日

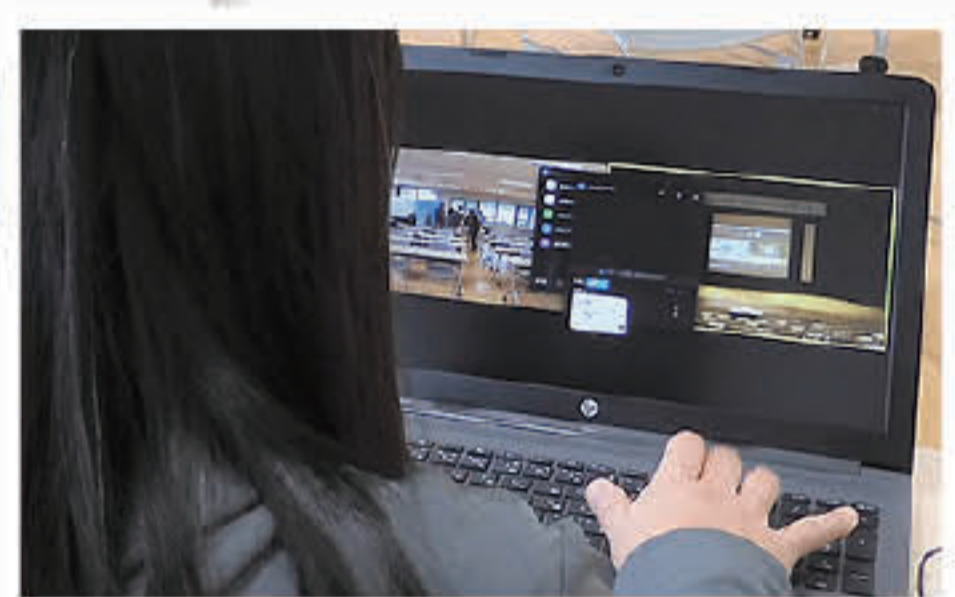
「県民カレッジの集い」(角野栄子さん講演会)

唐津市浜玉公民館のサテライト会場に、講演会をリアルタイムで配信しました。これまでアバンセ(メイン会場)に足を運ぶ機会がなかった方々の参加もあり、スクリーンを通して講演会を楽しんでいただきました。



大きな画面で講師の話を対面で聞いているようでした

サテライト会場の様子



オンライン配信の準備の様子

オンラインでも講演内容の良さが伝わりました



オンライン検証事業のレポートはこちら



生涯学習関係職員実践講座 令和5年3月10日

公民館職員によるサテライト会場設営体験講座

4つの公民館にサテライト会場を開設して、機材のつなぎ方を学び、職員自身がサテライト形式での講座を疑似体験しました。

自分でオンラインをつなぐことができ、とても嬉しかったです!



機材をつなぐ体験の様子



オンラインで健康体操を行う様子

折り紙や健康体操のオンライン講座をやってみたい!

ICTを活用したコミュニケーションでも楽しいことが実感できました!



スクリーンに映る4会場の様子



オンラインで折り紙を行う様子

4会場

佐賀市立新栄公民館
佐賀市立久保田公民館
唐津市大成公民館
唐津市浜玉公民館

生涯学習関係職員実践講座のレポートはこちら



夢パレット博士 第700号誕生!

一日一日を大切に、今後も学んだことを活かしていきます!

令和4年12月に開催した「県民カレッジの集い」の第1部で、博士証書授与式を行いました。授与者代表の挨拶をされた博士第700号の井上 妙子さんは、学びを後押ししてくれた周りの方々へ謝意を示され、コロナ禍で学ぶ機会が奪われた時期に感じた不安や、再び友人と共に学べる日が来た時の喜び、仲間がいることでつらいことも乗り越えられたことなどを話されました。

博士の皆様のこれからの活躍を期待しています!

*県民カレッジの最高単位である博士号は、500単位、おおむね1,000時間の学習をされた方に授与しています。



夢パレット博士第700号 井上 妙子さん(武雄市)

いつでもどこでもだれでも気軽に入学できます!

県民カレッジ 夢パレットさ についてはこちら▶▶



令和4年度も開催しました!

3者協働で取り組んだ

課題解決支援講座 11年目

市町 × 公民館等 × アバンセ

「課題解決支援講座」は平成24年度から市町・公民館等との共同企画で取り組んでいる事業です。11年目の令和4年度は佐賀市と唐津市の2地域で実施しました。それぞれの講座の様子を紹介します。

にしんBOUSAIまちづくり講

～『つぶやき』からはじまる。みんなで考えるまちの未来～

佐賀市立日新公民館 令和4年11月25日(金)～令和5年2月16日(木)/4回講座

住民の関心事である「防災」を切り口に、地域の課題や解決策を話し合い、より良い未来のまちづくりにつながることをめざして講座を開催。多様な意見を聞き合い、皆でできることを考える対話の場を重ねることで、主体的に地域活動に関わっていこうという意識の高まりが感じられました。

地域を見直すことにも
役立ちました

活動のアイデアを考える



グループ発表

皆で考えると具体的な
アイデアが出てきました

肥前ふるさとじまん

おもしろかるたにチャレンジ!!

唐津市肥前公民館 令和4年11月6日(日)～令和5年2月26日(日)/4回講座

子ども達がかかるたの題材となる肥前のいいところについて語り合い、絵札となる写真撮影や読み句づくりに取り組む講座を開催しました。肥前町にある4つの小学校から集った子ども達は、交流を深めながら、郷土愛を育むとともに、自分の意見や思いが反映される体験をとおして、自信を持って発表する姿がありました。

考えた読み句を
貼り出しました

読み句づくり



かるた大会

A3サイズの大判かるたで対戦!

課題解決支援 おうえんBOOK —このまちで見つける幸せ—

地域の課題に向き合った10年間(31講座)の試行錯誤をぎゅっと詰め込んだ1冊です。

おうえんBOOKは
アバンセホームページから
ご覧いただけます。



これまでの課題解決支援講座
レポートはこちら



地域づくりや
人づくりの
エッセンスが
いっぱい!

毎年、大好評!

まなびいフェスタ

令和5年度まなびいフェスタ
10月29日(日)開催予定!

子どもから大人まで、誰でも学びの楽しさに出会える
「まなびいフェスタ」一緒に見て、触れて、楽しむ
「まなびの扉」を開けてみませんか?

お問い合わせ先 ☎0952-26-0011

これまでの
まなびいフェスタレポートはこちら▶▶▶



昨年度のまなびいフェスタの様子



1人サーカスショー

ワークショップ

ミニマルシェ

館内をめぐる
スタンプリリー

アバンセの工事についてのお知らせ

アバンセの大規模改修工事に伴い、以下のとおり研修室等のご利用ができなくなります。
 なお、アバンセ事務所、印刷室、佐賀県視聴覚ライブラリー、佐賀県くらしの安全安心課、放送大学
 佐賀学習センターは、通常通り開館します。
 県民の皆さまには、ご不便をおかけしますが何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

箇所名		工事により利用できない期間
4階	第1～第5研修室・講師控室AB	令和5年8月から9月
2階	音楽スタジオ・放送スタジオ	令和5年10月の一部期間
	学習コーナー	令和5年10月から11月
	特別会議室・企画ミーティングルーム	令和5年12月
1階	情報サービスフロア・展示ギャラリー	令和5年6月
	アバンセホール	令和5年4月から6月

工事箇所や期間は変更となる場合があります。
 お問い合わせはアバンセ管理部まで
 TEL:0952-26-0011 / E-mail:daihyo@avance.or.jp



詳しくは右の
 二次元コード
 から▶▶▶▶▶▶



アバンセ館長メッセージ

アバンセ男女共同参画 替え歌シリーズ

第一弾

愛の参画 ~育児バージョン~



YouTube

「皆で子育て」を願って令和5年3月に作成した
 YouTube動画。エディットピアフの名曲「愛の讃歌」の
 替え歌。ぜひ、ご視聴、ご活用ください。



アバンセ館長
 田口 香津子

URL <https://www.youtube.com/watch?v=CqWfdXv8HgY>

ACCESS



アバンセ南出入口に屋根付身障者用駐車場（5台分）があります。

- JR佐賀駅から徒歩約10分
- 駐車場に限りがありますので、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。
- 開館時間：火～土 8:30～22:00
 日・祝 8:30～17:00
 休館日：毎週月曜日、12月29日～1月3日
- 二次元コードにより、施設の予約状況を検索できるようになりました。是非ご利用ください。

アバンセ施設予約状況

検索

二次元コードはこちら



- アバンセは佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センターの愛称です。
- 「アバンセ (avance)」はスペイン語で「前進」という意味です。
- 『アバンセNOW』はアバンセの今をお伝えする情報誌です。

アバンセNOW

Vol.111 2023.6月号

- 発行・企画 / 佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター(アバンセ)
 〒840-0815 佐賀市天神三丁目2-11 TEL 0952-26-0011 FAX 0952-25-5591
 E-mail daihyo@avance.or.jp URL <http://www.avance.or.jp/>
- 編集・印刷 / 株式会社 三光 伊万里市大坪町乙 4161-1 TEL0955-23-5808